

エコタウンえどがわ推進計画 第四回策定委員会 議事要旨

日時：平成30年1月12日（金）14時30分～16時00分

会場：タワーホール船堀 307会議室

1. 開会

2. パブリックコメント実施結果

- 事務局から、パブリックコメント実施結果について説明。提出された意見は計2件で、庁内調整等を経て計画書（案）へ反映した。

3. 第2次エコタウンえどがわ推進計画（案）について

- 事務局から、第2次エコタウンえどがわ推進計画（案）の修正点等について説明し、委員の了解を得た。
- 第2次エコタウンえどがわ推進計画（案）について、各委員の感想などを交換した。

<意見>

- アンケートの中で、もったいない運動を知らない人の関心が低くなっているという結果が出ているが、関心の低下は江戸川区だけでなく社会的な傾向であると感じる。計画を作ることで無関心な層に関心を持ってもらうことができると良い。
- この計画を上手く活用し、意味のあるものにしていくことが大事である。自分自身も傍観者ではなく、周りの人にも声をかけ、一人ひとりが意識を高めていけるように努力したい。
- 単に数値目標を追い求めるだけではなく、本質的な部分を考えながら取り組んでいきたい。
- 関心がある方とない方の差が開いているという意見もあったが、特に意識しなくても、選んだら自然に環境保全になっているといった仕組みが必要と考える。
- （学校教育において）東日本大震災の際、環境に関する意識が非常に高まった。大人の関心が薄れれば、子どもに影響を与える問題提起が薄れていくという流れになるので、この計画をもとにしっかりと取り上げていきたい。
- 東京オリンピック・パラリンピックの時に、世界の人々が江戸川区はすごいと思うような取組をするとよいのではないかと。

- 昨年、チャレンジデーというイベントを行い、69万人の大都市で46%の区民が参加した。このような区民運動をどう展開していくかが重要である。
- 計画をしっかり実践していくことが大事であるため、コスト削減が事業者にとって大きなインセンティブになること、家庭では高効率機器に買い換えることで電気代のメリットが出ることなどを考慮し、イベントなどで広報活動を行っていただきたい。

4. 閉会